

社会全体のすべての人に向けた アンケートの結果について

ご自身の乳幼児期を振り返って、
楽しかったこと・もっと大人にして
ほしかったことはなんですか？



目次

1.意見募集の概要・実施結果・・・P.3

2.具体的なコメント・・・P.11



1. 意見募集の概要・実施結果

- 実施内容：こども家庭庁にて、ご自身の乳幼児期を振り返って、楽しかったこと・もっと大人にしてほしかったことに関する意見募集を行った。
- 調査方法：デジタルツール「PoliPoli Gov(β版)」を用いたインターネットリサーチ
- 意見募集のテーマ
 - ご自身の乳幼児期を振り返って、楽しかったこと・もっと大人にしてほしかったことはなんですか？
- 調査期間：2023/07/28～2023/08/20（24日間）
- 調査地域：全国オンライン
- ページ閲覧数：6,069PV
- 総コメントユーザー数：507人（*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- 総コメント投稿数：511件（*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- 回答者の属性（必須回答）：
 - 性別：女性, 男性, 答えたくない
 - 年代：～12歳, 13～17歳, 18～24歳, 25～29歳, 30代, 40代, 50代, 60代, 70代以上
 - 身近にいる乳幼児とあなたのかかわり：保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者, 保護者・養育者以外

意見募集の仕組み



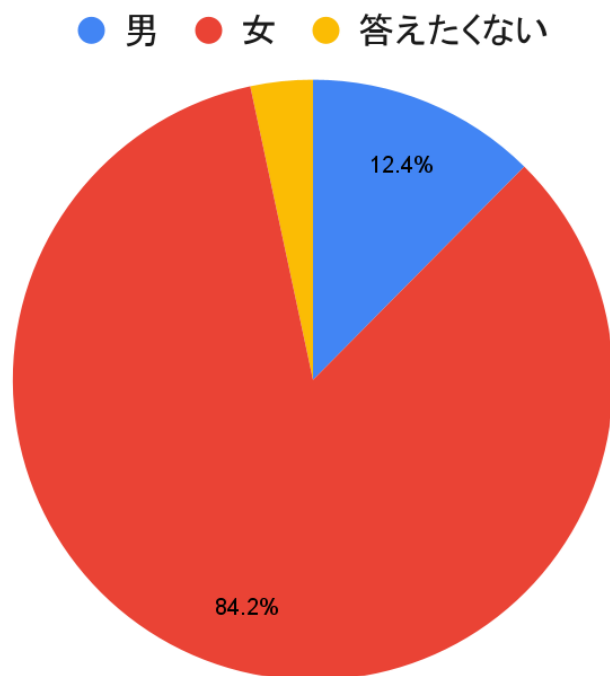
※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



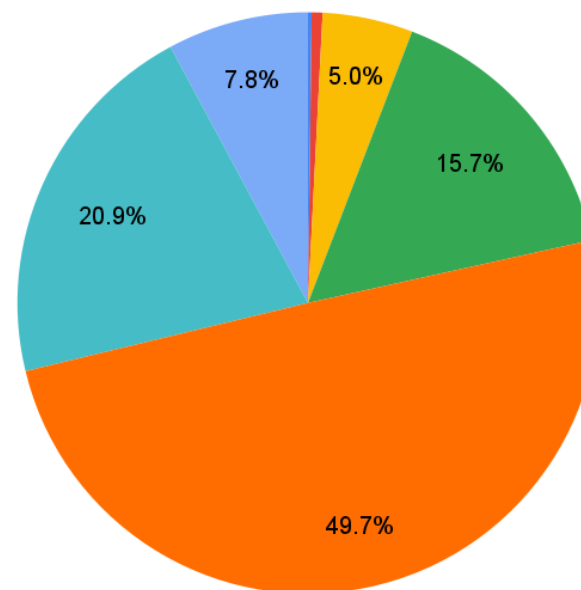
意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 女性が全体の8割以上を占めた。
- 25歳から40代の合計が86.3%と、子育て世代と思われる年代からの回答が多かった。

あなたの性別(UU 507人)



あなたの年代(UU 507人)



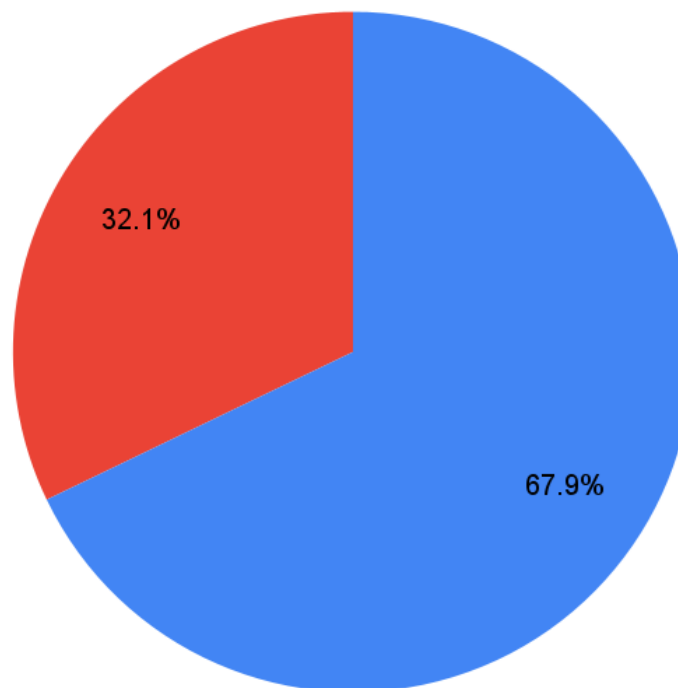
※UU=ユニークユーザー数。複数コメントした場合でも同一ユーザーとしてカウント

意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

- 保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者の割合が67.9%となった。

身近にいる乳幼児とあなたのかかわり(UU 507人)

- 保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者
- 保護者・養育者以外

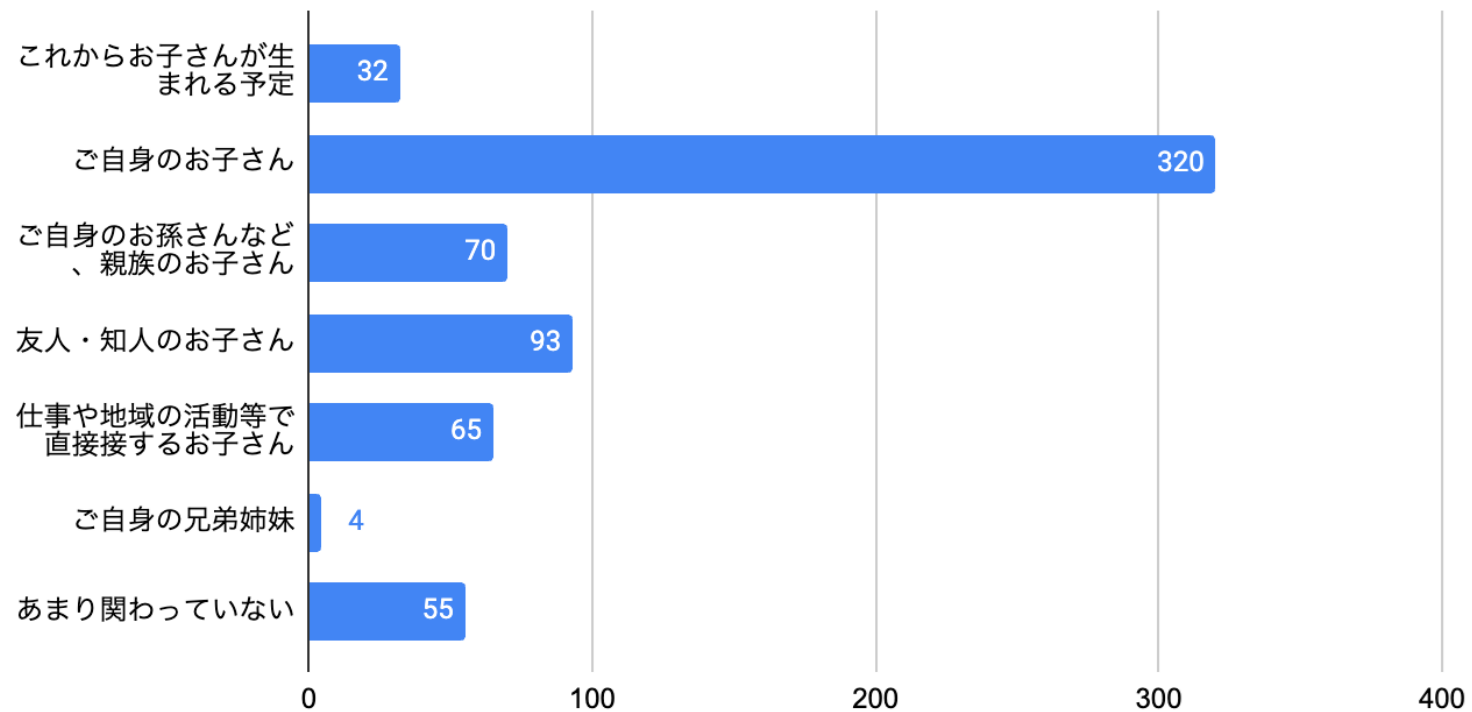


意見募集の概要・実施結果 | 普段関わっている乳幼児について

設問「あなたが普段関わっている乳幼児について、すべて選択してください」※複数選択

- 「ご自身のお子さん」を回答した人が62.3%となり、回答者の半数以上はご自身のお子さんに関わっていることがわかった。

普段関わっている乳幼児について

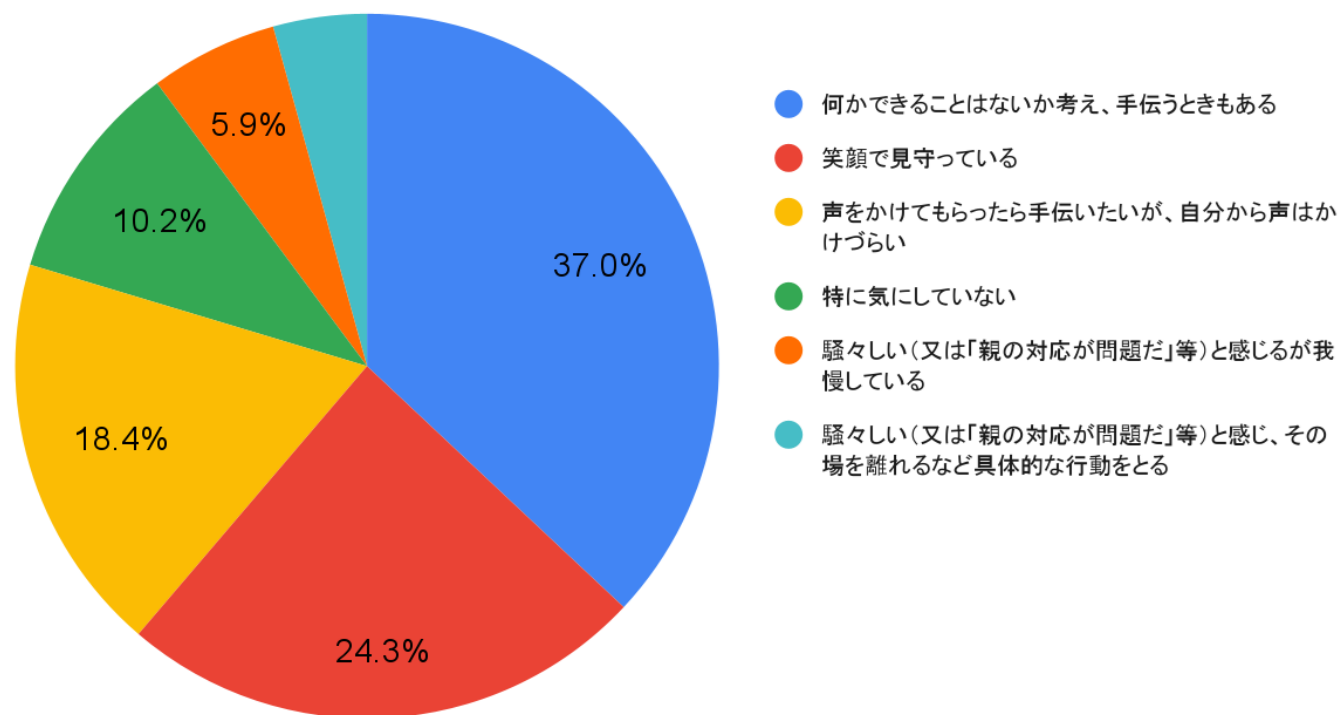


意見募集の概要・実施結果 | 知らない乳幼児の行動に対する反応

設問「ご自身が知らない乳幼児が泣き続けていたり、遊び回って騒いだりしている姿を見た時のあなたの反応として、もっとも近いものを選択してください」

- 「騒々しい」の合計は10%となり、9割のユーザーがポジティブな反応または気にしないという結果になった。

知らない乳幼児の行動に対する反応

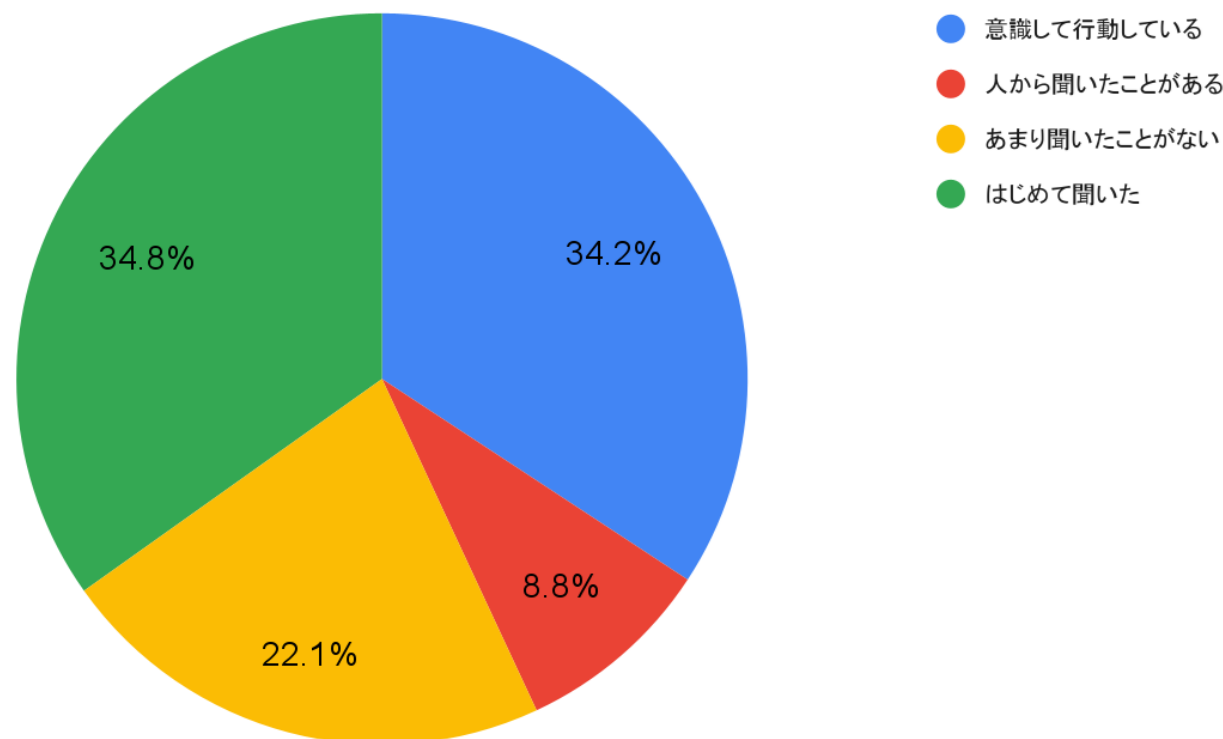


意見募集の概要・実施結果 | 乳幼児のウェルビーイング（幸福）の向上について

設問「乳幼児のウェルビーイング（幸福）の向上に向けて、身体面、心の面、社会の面の三つの視点を一体的に捉えることについて意識したり、人から聞いたことはありますか？」

- 「はじめて聞いた」「あまり聞いたことがない」の割合が56.9%となり、回答者の6割が子どもがいる一方で「乳幼児のウェルビーイング」の認知度は低い結果となった。

乳幼児のウェルビーイング(幸福)の向上について

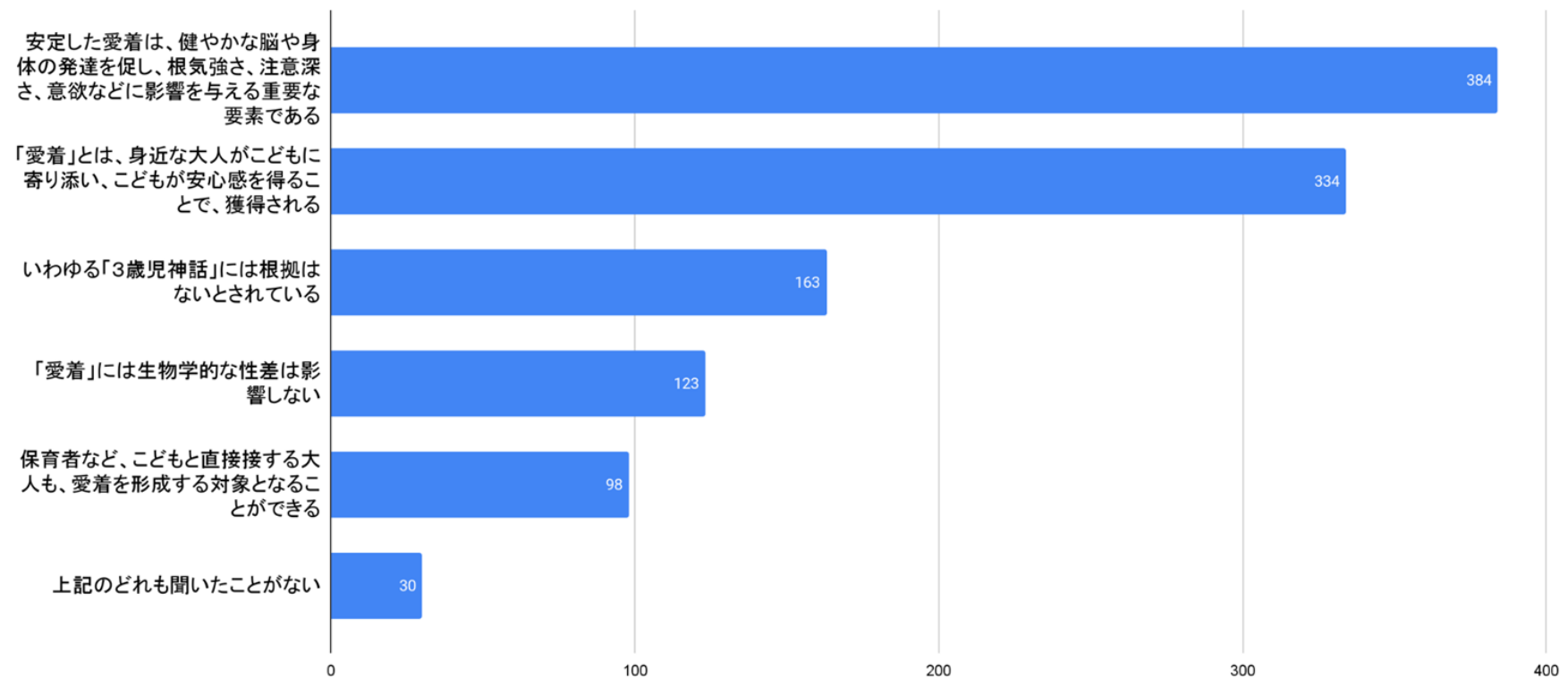


意見募集の概要・実施結果 | 「愛着」の形成について

設問「「愛着」の形成について、聞いたことがあるものを選択してください」 ※複数選択

- 愛着が重要な要素であることや、愛着の獲得のされ方については75%の回答者が認知している概念であった一方、その他の概念は30%以下の認知度となった。

「愛着」の形成について、聞いたことがあるもの(複数回答)



2. 具体的なコメント

- ・ 楽しかったこと
- ・ もっとして欲しかったこと
(ヴィジョンごと)

具体的なコメント | 楽しかったこと（遊ぶこと）

- 時間を気にせずじっくり遊ぶことが何より楽しかった。少し年上の子たちと一緒に遊ぶのも、少し背伸びしたような気持ちが出て楽しかった。
(40代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者)
- 野原や森で遊ぶことが楽しかった。
(40代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者)
- 同じマンションで近所のこどもたちと異年齢交流があったこと。
(30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者)
- 絵を描くことや何かを作ること。絵本を読んでもらうこと、自分で読む（見る）こと。
なぜ雨が降るのか、なぜ水がたくさん集まると青くなるのかなど、自然の法則を知ること。言葉の意味や語源を知ること。これらの知識や知恵を教えてくれる大人とたくさん喋ること。おつかいに行くこと、料理の手伝いをする事。虫を捕まえること、動物を飼育すること。おばあちゃんの畑を手伝うこと。行ったことのない場所に連れて行ってもらうこと。新しい経験や知識に触れることが、たまらなく嬉しかったのしかたです。(30代、答えたくない、保護者・養育者以外)

具体的なコメント | 楽しかったこと（家族と過ごすこと①）

- 親に沢山の愛情を注いでもらった。決して裕福ではなかったが食べたい物や楽しませてくれる事をしてくれた。（40代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 近所の原っぱで兄達年上の子と夢中で駆け回り、夕暮れに夕食の匂いが漂う家に帰った時の安心感。
（70代以上、男性、保護者・養育者以外）
- 幼稚園に入る前の頃、母との散歩で、母が蝶をつかまえてくれた。蝶を家に連れて帰り、砂糖水を飲ませるのを見せてくれたとき、蝶の口のストローが伸びた瞬間を鮮明に覚えている。それがのちに生き物や科学への興味となり、医師となり、今、こどもの精神科医をしている。
（50代、女性、保護者・養育者以外）
- 父親と海や川に行ったこと（40代、女性、保護者・養育者以外）
- 母親が私の手提げ袋を作ってくれました。その手提げ袋にエプロンをしためんどりのお母さんと、ひよこのこども達を毎日少しずつ、刺しゅうしてくれる姿を見るのが本当に嬉しくて、出来上がりを楽しみに待ってました。出来上がった手提げ袋はぼろぼろになるまで使い続けたのを覚えています。（50代、女性、保護者・養育者以外）
- 休日のお出かけや、両親と過ごす時間。
（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）

具体的なコメント | 楽しかったこと（家族と過ごすこと②）

- 祖父母も同居する家庭だったため、両親は共働きだったが常に大人が家にいた。なにか特別なことをした日というよりは、家に帰れば信頼できる大人がいるという安心感のおかげで日常を手放しで楽しむことができていた。しっかり見ていてくれたので嬉しかった。
(30代、男性、保護者・養育者以外)
- 祖母が父母のかわりに私を育ててくれたこと。幼稚園のお迎えに祖母が必ずいました。家事や農作業を手伝ったり、よく話を聞いてくれたことをおぼえています。祖母は身体障がいがありましたが、障がいの不便さを工夫していました。（両手でなら簡単にできることも、片手でやったり ※缶詰の開封、包丁やピーラーを使った料理、お風呂や床の掃除など）
幼少期から祖母には、優しさも厳しさも教わり、私の心の糧になっています。それが、私の楽しかったことです。（40代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 私の幼少期は祖父母も同居しており、私の面倒は祖母が四六時中みていてくれた。祖母との時間や思い出すべてが楽しかった。私という人間を形成するうえでかけがえのない期間だった。
(40代、男性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 祖母の故郷（田舎）に毎年行き、山菜やキノコ採り、野山を散歩、生みたての鶏卵で卵ごはんを食べたりしたこと。（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）

具体的なコメント | 楽しかったこと（教育・保育施設での時間）

- 保育園で年長さんの時、お泊り保育でハイキングをした時、お誕生日のクラスメイトの為に、先生がケーキの代わりにチョコチップメロンパンを持ってきていて、山の中で皆でハッピーバースデーを歌った後に分け合って食べた事は、今でも大切な楽しかった思い出です。
（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 保育園で、普段はできない泥遊びを全身で思い切り楽しめたこと。
（18～24歳、女性、保護者・養育者以外）
- 保育園での生活(大好きな先生とたくさん関わること)
（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 幼稚園が楽しかった。自分を見てくれる先生に甘えられたことがよかった。動物と触れあう機会が楽しかった。（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 幼稚園の担任先生が好きで、通園が楽しかった。毎日泥だんごをつくって、友だちと競ったり、上手につくるコツを教えあった。
（60代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 幼稚園で砂遊び、木登り、竹馬、かけっこ、ままごと、製作遊び、先生の読み聞かせ…いろいろな遊びを思い切り楽しんでいたこと。今でも思い出せる。（40代、女性、保護者・養育者以外）

具体的なコメント | 楽しかったこと（地域での関わり）

- 地域のこども会に所属していて、お祭りの練習や、お宮掃除などで集まることがよくあった。友達と約束をしていなくても会え、学校のクラスや学年が違って遊べる、楽しい時間だった。そこに来ている大人会話するのも楽しかったし、助けてもらう事もたくさんあった。(25～29歳、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者)
- 保護者に連れられてばかりで無く、自分で行きたいと思える機会と交友関係があった。ご近所さんが育てている農作物、DIY、仕事場訪問、実際に触らせ体験させてもらえる関係性があった。振り返れば、地域のご近所さんぐるみで実施された「保育」の形であったと感じます。保護者にとっては、買い物や用足しのちょっとした空き時間を任せられる「共助」、学びを得られる「社会体験（教育機会）」。こどもにとっては、身近な環境で社会に触れられる「原体験」と、内に秘めた興味関心の「選択肢」を自らの意思で紡ぎ・選べ、とても楽しかった思い出があります。
(30代、男性、保護者・養育者以外)
- 近所のこどもたちと、家の前の道路で毎日遊ぶことや、近くの空き地でこどもだけで秘密基地を作ることなど、「大人にあまり干渉されずに遊ぶ」こと全般。
(30代、男性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者)
- 親だけでなく、祖父母、近所の女性たちが面倒を見てくれ、親戚や近所のこどもたちと遊ぶ機会が多かったこと (50代、女性、保護者・養育者以外)

具体的なコメント | こどもの権利と尊厳を守る

もっとして欲しかったこと

- ポケットに友達の家のおもちゃを入れたまま持って帰ってきて泥棒扱いして叱ることをやめて欲しかった。こども向けの教養番組やアニメとか知識や常識や善悪が分かる絵本やアニメやテレビをもっと見たかった（一部抜粋）（30代、男性、保護者・養育者以外）
- こどもも1人の人間として整合性のある態度をとって欲しかった。親以外の大人については、何が虐待であるとか、世界的に認められているこどもの権利とか、困った・辛い時の相談先を教えて欲しかった。（一部抜粋）（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 上の兄弟の影響で、自分の意思に反して習い事が決まっていた。もっと、こどもの声に傾聴してもらいたかった。小さな自我や自立の芽を潰してしまわないように話を聞いて欲しかった（声に出せない子も増えているので、引き出すスキルを身に付ける場も必要なのではないか）。（40代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）

もっとして欲しかったこと

- 困難に出会った時都度寄り添って、優しく問題解決と一緒に取り組んで欲しかった（40代、女性、保護者・養育者以外）
- 両親共働きで、両親とも夜勤で不在時は、同居祖母と過ごしたが、夜、絵本を読んだり、学校での話を聞いてくれたり一緒に過ごしてほしかった。両親共働きで、小学校の入学式も一緒に登校することができず、夜勤明けの母親と、入学式後に合流した。保護者参観日にも来てほしかった。（※一部抜粋）（40代、女性、保護者・養育者以外）
- 厳しく育てる方針だったのだと思いますが、児童期に抱きしめられたりした記憶がなく淋しい思いをしていました。両親共一緒に怒られるので常に孤独を感じていました。自信がもてる様に育ててもらえたら学生生活も違ったのではと感じます。反面教師にして自分の子育てに活かしています。（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）

具体的なコメント | 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える

もっとして欲しかったこと

- 都市部から町に小学校が一つしかない田舎に引っ越した後、友達の家が遠くて放課後に自由に遊ぶことが全くできなくなってしまった。(30代、女性、保護者(※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む)・養育者)
- 保育園と小学校の学区が違い保育園の友達との関係が切れてしまった。継続した環境が欲しかった。(40代、男性、保護者(※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む)・養育者)

具体的なコメント | 保護者・養育者のウェルビーイングと成長を支える

もっとして欲しかったこと

- 私の家庭は、とにかく両親同士の仲が悪く、いつも喧嘩していました。また、同居している祖父母と両親の仲も悪く、こちらは喧嘩というより、親世代が祖父母世代を恫喝するような様をずっと見ていました。従って家庭にすることが苦痛でしたが、長年まったく解決しませんでした。今思うと、この状況を解決する仕組みや別の大人がいてもよかったと思います。現状の議論では、離縁に至っていない、かつ貧困でもないような、このような家庭内不和についてはあまり支援の目が向けられていないように思いますが、幼児のウェルビーイングを考える際には重要に思いますので、記載させていただきました。（40代、男性、保護者・養育者以外）
- 部屋の中でタバコを吸うのをやめて欲しかった。（吸わないで欲しいという意見を、大人の管理下にあるこどもの意見ではなく、一個人の意見として受け入れて欲しかった）（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 親となった今は理解できるが、怒鳴るに値しない内容で、こどもに怒鳴り注意を促すこと。親の機嫌を伺って過ごした習慣が今の社会生活やプライベートでも抜けない。人間形成にとっても影響があると思う。（25~29歳、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）

具体的なコメント | こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

もっとして欲しかったこと

- こども会の強制加入が嫌だった。入退会は自由にして、こどもの意思を尊重してほしい。また、PTA・こども会で親が役員に当たった時は、平日夜に親が留守になりさみしい思いをした。（※運営にて要約）（25~29歳、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 伸び伸び遊べる施設や広場があれば嬉しかったです。今はより選択肢がありませんので、親子でスポーツが楽しめる場所があると嬉しいです。夏はこの暑さでショッピングモールくらいしかつれていけませんので、室内の選択肢も広がるといいなと思います。（25~29歳、男性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）
- 今の親世代も忙しすぎるので、望む人がこどもとの時間を持てるよう両親が時短勤務をしても生活が成り立つような社会の仕組みにして欲しい。（年少扶養控除の復活や労働時間の改善など）（30代、女性、保護者（※妊娠中又はパートナーが妊娠中の方含む）・養育者）